

2017年10月25日

各位

会社名 株式会社シーアールイー
代表者名 代表取締役社長 亀山 忠秀
(証券コード 3458 東証第一部)
問合せ先 取締役 永浜 英利
(TEL 03-5572-6600)

「ロジスクエア鳥栖」賃貸借予約契約の締結

株式会社シーアールイー（代表取締役社長/亀山忠秀 本社/東京都港区虎ノ門）は、佐賀県鳥栖市で開発を進めている物流施設「ロジスクエア鳥栖」において、大手総合物流企業である日本通運株式会社（<http://www.nittsu.co.jp>）と賃貸借予約契約を締結しましたので、お知らせ致します。これにより、同施設は来年2月の竣工に先立ち、契約率100%となりました。

本契約は、「ロジスクエア鳥栖」の一棟全体（延べ面積17,789.40㎡）を一括賃貸するもので、日本通運株式会社は九州全域を対象とした戦略的物流拠点及び外販業務受注拡大に向けた営業拠点として当施設を活用する計画であり、「ロジスクエア鳥栖」の立地や規模、スペックなどを評価し入居を決定しております。

なお、「ロジスクエア鳥栖」は、松尾建設株式会社の設計施工により2017年6月に着工し、2018年2月末を竣工予定として建設を進めております。

<ロジスクエア鳥栖 完成イメージ>



■開発プロジェクト概要

施設名称：ロジスクエア鳥栖
所在地：佐賀県鳥栖市曾根崎町
敷地面積：15,777.90 m² (4,772.81 坪)
用途地域：準工業地域
主要用途：倉庫（倉庫業を営む倉庫）
建物構造：鉄骨造 地上2階建て
延べ面積：17,789.40 m² (5,381.29 坪)
着工：2017年6月1日
竣工：2018年2月末（予定）
設計施工：松尾建設株式会社

■「ロジスクエア鳥栖」について

「ロジスクエア鳥栖」は15,777 m²の敷地に地上2階建て、延べ面積17,789 m²の物流施設として2017年6月1日に建設工事に着手し、2018年2月末の竣工を予定しております。

施設は、ワンフロアが約2,500坪の2階建てで、1階・2階共に倉庫内有効高さを5.5m以上確保し、保管効率の向上に寄与する設計となっております。また、トラックバースは大庇による無柱空間とし、階層を2階建てに抑える事で、上下搬送に起因した時間的なロスを極小化し、スピーディーな入出荷オペレーションの実現を可能とした汎用性の高い施設計画となっております。

「ロジスクエア鳥栖」は、長崎自動車道「鳥栖」インターチェンジから約2.4km、国道3号線沿いに立地しております。鳥栖エリアは、九州自動車道、長崎自動車道、大分自動車道の結節点にあることから九州全域をカバーする広域物流拠点としてのニーズが高いエリアです。

■株式会社シーアールイー

当社は、現在、物流不動産を中心に約1,400物件、約120万坪（約400万m²）※2の不動産の管理運営を行っております。物流不動産特化の管理会社としては、国内最大規模となり、サービス領域においては、物流不動産開発・テナントリーシングから竣工後のアセットマネジメント、プロパティマネジメントまでのトータルサービスをワンストップでご提供しております。

物流不動産開発においては、現在、物流施設5物件、延べ面積約20,000坪（約68,000m²）の開発を進めております。当社独自に構築してまいりました多数のテナント企業とのリレーションシップによりテナント企業が求めるニーズを的確に捉え、テナント企業の個別ニーズを満足させた上で更に機能性・汎用性をも兼ね備えた物流施設造りを推進し、継続的にご提供してまいります。また、前身からの50年におよぶ業歴から得た物流不動産の管理運営の知見・ノウハウを開発事業に注ぎ込むことにより、利用者の立場に立った利便性の高い施設開発を目指し、首都圏は勿論のこと、全国の物流適地において積極的に物流施設開発に取り組んでいく方針です。

（※2 2017年7月末時点）